

して地域と連携を図りながら、今後の地域振興に結び付けてまいりたいと考えております。

次に農業についてであります。国においては、昨年四月に食の安全と安心の確保に取り組み、消費者に軸足を移した農林水産行政を行うことなどを内容とする「食と農の再生プラン」を策定したところであります。当市においても、消費者に軸足を置き、安全・安心で食味が良く、付加価値の高い農産物の生産と環境に配慮した農業への移行が課題であると考えております。現在、民間において「フードリサイクリング事業」立ち上げの動きがありますが、この事業は食品廃棄物を原料にして有機質肥料を生産することにより、廃棄物の有効利用と安全な農産物の生産システムの確立を図ろうとするものであります。安全な食品を求める市民とのネットワークが生まれ、産地としてのイメージアップにもつながることが期待されることから、前述の課題に対する実践的な取り組みと捉え、新年度はこの事業を支援してまいります。

実施している「県営ほ場整備事業」を継続し、近代的・低コスト農業経営を推進してまいります。また、両新地区のほ場整備と合わせて組織された農業生産法人が、事業主体となつて行うライスセンター建設を支援し、地域の担い手育成を推進してまいります。

次に、生産調整についてであります。農林水産省では、「米づくりにあるべき姿」を実現し、二十世紀の食料供給体制を築き上げるため「米政策改革大綱」を昨年十二月に公表いたしました。この中で、新年度については、平成十六年度からの本格的な改革実施に向けた、準備と周知期間と位置付けられております。当市における新年度の生産調整目標面積は、昨年度よりさらに拡大して、過去最大規模となったところであります。米の需給調整と価格の維持を目的に行っている生産調整については、安定した水田農業を維持するため必要であると認識しておりますので、国、県の支援策が一部廃止される中で、当市においては、従来どおりの支援策を継続し、目標の達成を目指してまいりたいと考えております。

さて、中高年の農業回帰や家庭菜園で作る安全な食物志向など、市民の農業に対する関心も高まりをみせております。こうしたことから、試行的に開設される市民体験農園を支援することとし、農地

次、観光についてであります。先日、逝去された故・秋山庄太郎氏のお力添えをいただき、フラワーフォトコンテストの開催などを通じて「花のまち・新津」をアピールしてまいりました。このたび、「花夢里にいつ」が国土交通省から「道の駅」として登録されたことから、四月に道の駅としてもオープンする予定であります。当市の特産である花き花木の販売拠点も、さらに全国に情報発信されることとなり、これまで以上に大勢の方々から当市に来ていただけるものと期待するものであります。

また、さまざまな新津の魅力が発信することが観光にとって大切

次に、地域コミュニティについてであります。「自らの地域は、自らの知恵と行動で築きあげる」という地域社会の形成を目指し、地域コミュニティの育成を図るため、地域の特性を生かした自主的な活動を支援する「地域づくり活動助成事業」を新年度においても引き続き実施することとしております。また、自治会、町内会の住民自治活動の場として活用されている、集会所の建設助成についても継続してまいります。また、より広い地域の活動拠点となる小合地域活動センターの増築及び金津地区コミュニティセンターの建設に向けての調査にも取り組むこととしており、市民の皆さんのコミュニティ活動が一層活発化することを期待しているところであります。

次に情報化社会への対応についてであります。市内の主要な施設や小中学校を結び、高速大容量の情報を受発信する地域イントラネットの基盤整備が完了したことから、今後、こ



故・秋山庄太郎さん（花の大撮影会で）

なりますので、一層のセキュリティ確保に努め、システムを運用してまいりたいと考えているところであります。

- 経営安定資金 ……2億円
市内事業者の経営安定を図るため、資金の貸し付けを行います。
- フードリサイクリング事業 ……1500万円
食品ごみを活用した環境保全型農業の実施を補助します。
- 県営ほ場整備事業 ……2869万円
満日地区と両新地区のほ場整備に対して事業費を負担します。
- 地域農業構造改革モデル事業 ……4000万円
農業生産法人が農地を集積して事業を行うための、ライスセンター建設を補助します。
- 生産調整関連事業 ……5939万円
生産調整の実施に関して、達成奨励補助金や経営確立助成特別補助金などを交付します。
- 観光画像デジタルベース化事業 ……531万円
観光関連画像を収集・整理し、有効活用します。
- 金津地区コミュニティセンター整備事業 ……1300万円
コミュニティセンター建設のため、調査・設計を行います。

4 個性豊かな文化のまち 豊かな人間味と文化の薫るまち

はじめに、学校教育の充実についてであります。

国際化の進展とともに、他国との関係なくしては日常の生活も成り立たない時代が変わりつつある今日、国際化社会の中で「生きる力」を育んでいくことは、学校のみならず地域と家庭が一体となつて取り組んでいかなければならない重要な課題であると考えております。

学校教育の場では、今年度から本格的に実施された総合学習の授業の一環として、国際理解体験学習を行っております。新年度においては、外国人指導助手を大幅に増員し、新規事業の「レッツスピーク・イングリッシュ事業」をはじめ英語教育の一層の充実に努めてまいります。

また、総合学習においては、学校独自のオリジナリティーに溢れたメニューに沿って、子どもたちが自身が地域の伝統を学んだり、まちづくりを考えたりするさまざまな体験を重ねております。新年度においても引き続き、各学校の創意工夫に満ちた体験型学習を支援し



初めて触れたバイオの世界

てまいります。また、平成十一年度から実施している当市独自の「学校教育ボランティア」についても引き続き募集し、地域の人材を学校教育の場で生かす「開かれた学校」を実践してまいりたいと考えております。

引き続き実施してまいります。高度情報化社会に対応して、学校教育の場においても情報教育の拡充が求められております。すでに完了している地域イントラネットを利用し、各学校ではホームページや文集の作成など、身近なところから取り組みを始めておりますが、学校イントラネットシステムを利用した教育プログラムなどにより、今後も一層情報教育の拡充に努めてまいりたいと考えております。

次に、教育施設環境の整備についてであります。老朽化の著しい第五中学校の屋内運動場の改築及び小合小学校トイレの改造については、今年度から工事に着手するところであります。新年度中に完成する見込みですが、新年度中に完成する見込みです。そのほか、結小小学校体育館床の全面改修をはじめ、市内小中学校の施設の更新については、改善に努めてまいりたいと考えております。また、老朽化した西部共同調理場の更新については、今年度

次に、学区についてであります。が、市内の宅地造成などの状況変化に伴い、学校によっては児童生徒数の増減が著しい状況にあることはご案内のとおりであります。新年度においては、小・中学校通学区等審議会を設置し、学区などに関する適正化の検討を行ってまいりたいと考えております。

次に、高校生に対する修学支援についてであります。向学心を持ちながら、経済的理

- レッツスタディ・イングリッシュ・サポート事業 ……3178万円
外国語指導助手を増員して、小・中学校へ派遣します。
- 「総合学習」支援事業 ……1163円
児童・生徒が自ら考え、実践する総合学習を支援します。
- 新しい生物科学体験学習事業 ……92万円
中学三年生を対象に、遺伝子組換え学習を実施します。
- 結小小学校体育館大規模改修事業 ……2200万円
体育館の床を全面改修します。
- 奨学金貸付事業 ……300万円
支給方式から貸付方式に移行した新しい奨学金制度を実施します。